

令和3年度大阪府障がい者委託訓練事業にかかる
大阪府公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会 議事要旨

1 日 時

令和3年1月18日（月）14時から14時35分まで

2 場 所

大阪府咲洲庁舎（さきしまコスモタワー）41階 共用会議室④

3 選定委員会委員

澤田 敏仁（大阪府社会保険労務士会）

福地 守（大阪府中小企業家同友会）

永岡 靖子（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構大阪支部
大阪障害者職業センター）

4 審査方法

令和3年度大阪府障がい者委託訓練事業に係る企画提案公募要領に定める審査基準に基づき、3名の選定委員会委員が書類審査を行い、令和3年度大阪府障がい者委託訓練事業に係る企画提案公募要領の6の（2）審査基準の配点に基づき採点・評価した。

5 議事概要

令和3年度に実施する障がい者委託訓練（知識・技能習得訓練（集合訓練、職場実習付き訓練）、e-ラーニング、在職者訓練）の委託先候補を選定するため、企画提案公募を実施、応募のあった事業者の企画提案について、その内容を委員会で評議し、得点の最も上位の事業者を最優秀提案事業者として選定した。

6 選定委員発言等要旨

○ 訓練内容・カリキュラム内容、訓練中及び訓練修了後の就職支援内容の評価、採点にあたっての考え方等について意見があった。

- ・ 提案事業者が少なく、競争が働いていない。
- ・ 訓練内容はブラッシュアップされているものの、昨年度と大きくは変わっていない印象を受けた。
- ・ 体制については、あまり幅を広げずに、基本的なところをしっかりとやっていただける提案を評価。
- ・ 事務系訓練の教材で、マイクロソフトオフィスのバージョンがちょっと古いのではないかと感じた。
- ・ フォローやアフターケアが大事であり、職業紹介事業の実施や支援機関等と連携がとれている提案を評価した。
- ・ 同じ訓練であっても、どの程度、障がい種別をとらまえた提案がなされているのかという観点で評価。
- ・ 就職支援が大事。就職支援、訓練中及び訓練修了後のマッチングなど、きめ細かな提案がどの程度されているか等について評価を行った。
- ・ 提案事業者が少ないため、比較がしにくく、点数の差がつけづらかった。